

令和元年度山梨県南都留地域教育フォーラム提案書

第7分科会

都留市立旭小PTA

会長・杉本好享

「地域として子供たちを豊かに育てる」

1. はじめに

本校は、都留市の東側、県道35号線沿いに位置している。県道35号線を東行すると旧秋山村に至る、都留市でも中心街から離れた盛里地区にある。歴史は古く、旭小学校（法能学校分校）の創立は明治7年となる。その後、明治34年、現在地に新校舎を建設した年から数え、今年度で118年になる。地域の歴史も古く、学校プール建設地からは縄文時代の遺跡「尾咲原遺跡」が見つかっており、数千年の昔から人々が生活している場所である。



自然豊かな旭小の位置 (google map より引用)



校舎全景



正面玄関の縄文式土器



正面玄関の出土品展示

2. 学校及びPTAの概要

今年度、旭小学校は全校生徒29名、最小のクラスは3人、最大でも7人の学年編成になっている。児童数はH26年57名、H27年55名、H28年42名、H29年34名、H30年33名であったので、5年間で半減していることになる。平成29年にコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置し、地域と共にある学校づくりを進めている。

PTAの会員は、児童数と共に減少しており、今年度21世帯である。ほとんどの家庭が共働きであり、放課後の学童クラブを利用している。学区の中に市営団地があり、会員世帯の半数は団地に住んでいる。

PTA・学校規模ともに都留市の中でも最もコンパクトな組織である。

3. P T A 組織の時代に合った改善

P T A 組織も共働き家庭の増加や児童数の減少など時代に合った改善をここ数年で行ってきた。地区委員の廃止、専門部（文化部・体育部）の学年部会との統合、P T A 理事会の回数削減等を行い、組織のスリム化を図り「無理のないP T A 活動」を心がけるようにしてきた。

現在は、1・2年学年部会が学校行事支援部を兼ね、心肺蘇生法講習会と運動会支援を行っている。3・4年学年部会が学習支援部を兼ね、P T A 親子学習会の運営とムササビ観察会の運営を行っている。5・6年学年部会が環境整備支援部を兼ね、P T A 環境整備作業を行っている。また、それぞれの学年部会で親子レクを企画・運営している。

4. P T A 行事

(1) 環境整備作業

学校内で普段出来ない場所をP T A で整備している。例年、体育館清掃、池の浚渫、除草作業、側溝の浚渫等を行っている。今年は昨年使用できなかったプール清掃を中心に環境整備を行った。数年前までは、学校飛び地の草刈りを行い、そり滑り場を整備していたこともあった。



環境整備作業の様子

(2) 親子学習会

親子で体を動かすことを中心に企画運営を行っている。フィットネス教室やヨガ教室などを年度末に学習支援部（3・4年学年部会）で方向性を決め、年度が替わったところで新体制により講師と交渉を始め、実施している。親子で行うことや内容が健康に役立つものであるので毎年好評な学習会である。



親子ヨガ教室の様子

(3) 心肺蘇生法講習会

夏休みのプール開設では、P T A も監視員をするため、毎年実施している。保護者・教職員が対象で行ってきたが、保護者の要望として6年生位になったら心肺蘇生法の知識も必要になるため、一緒に講習を受けるようにした。来年度以降も、高学年も一緒に学べるようにしていく。



心肺蘇生法の説明や実施訓練の様子

(4) 学年部会親子レク

各学年部会が企画運営している。親子で食事やおやつを作って、一緒に食べる内容のものが多く、それに絡んで、給食試食会や保護者に感謝する会などを行っている学年もある。



親子でうどんづくり



給食試食会

(5) ムササビ観察会

ムササビの保護活動を30年以上続けており、11月に親子観察会を行っている。毎年継続して観察してきたが、昨年度は1頭が確認できた。伝統的な特色ある活動なので今後も継続していきたい。

この活動は様々な本で紹介され、多くの人がこの活動に参加してきた。



夕方神社に集合



活動が紹介されたたくさんの書籍

5. 地域とのかかわり

「地域とつなぐ・連携で育む」とあると、PTAと地域社会が並立しているように考えてしまうが、地域の中で、小学校に子供が通っている家庭がPTAになっているため、PTA会員がそのまま地域社会でもある。自治会、育成会、消防、協働のまちづくり推進会、スポーツ少年団、老人会、学童クラブ、子ども教室等々、様々なものが地域社会には存在し、保護者はそれぞれに何らかの関係・所属をしている。それぞれが、網目状に関係し合い、総合的に「地域として子ども達を豊かに育てる」ことが出来るようになっている。以下にPTA行事ではないがかかわりが深い活動を紹介する。

〈スクールガード・ボランティア実行委員会〉

主に祖父母世代がスクールガード・ボランティアとして、子供たちの登下校の見守り活動を中心に安全活動を行っている。小学生の孫がいる祖父母が実行委員長として、新規登録や活動の中心になっている。また、この委員長が学校運営協議会の委員として学校運営にも関わっている。およそ2年任期であり、現委員長が適任者を探して依頼・交渉して、次の委員長に引き継いでいる。

〈石船神社奉納子ども相撲〉

毎年8月1日に地元の石船神社で子ども相撲が行われ、その神事には主に6年生の小学生が参加している。石船神社は、ムササビの保護活動場所であり、子供たちにとっても身近な神社である。3年生で氏子総代の方から説明をしてもらい、地域学習も行っている。



神妙な面持ちで神事に望む児童

〈高齢者ふれあいの集い〉

地元の高齢者の集まりに、児童が運動会で練習した表現活動を発表している。PTAの多くも参観している。地域の祖父母世代と保護者世代、そして小学生や保育園生が一堂に会する希有な機会となっている。



1～3年生の表現発表



おおぜいの来場者



4～6年生の表現発表

〈学校応援団〉（学校外人材活用の総称）

学校外の人材を活用したたくさんの教育活動が行われており、その講師や参加者、訪問先については地域の様々な人がかわり、子供たちに豊かな体験と豊かな学習の機会を提供できている。



近くの畑を借りての野菜作り



保育園生を招いての1・2年祭り



地域の方による読み聞かせ活動



地域の老人施設への訪問



地元の神社での地域学習



修学旅行前に地元と鎌倉の関係を学習



地域のお寺で地域学習



地域の危険を知る防災教室

6. おわりに

旭小は小規模校であり、PTA組織も単Pとしては小さい。しかし、PTA会員それぞれが地域の中で様々な役割を受け持っている。そのような我々がPTAとして子供たちを育てるということは、地域全体で子供たちを育てることに他ならない。これからも、子どもたちに豊かな学びの機会をつくってあげたいと願っている。